

重要文化的景観と地域おこしの連携を 〜四万十川流域を例に講演〜

7月26日、28日の2日にわたり、高知県文化財保護審議委員である溝淵博彦さんの講演会が開催されました。演題は、「文化的景観保護制度とその使い方」。田舎町に数多く残る文化財を今後どのように活用して地域おこしを行っていくかをテーマに話されました。講演内容は田舎の町ならではの地域おこしの方法や実



溝淵博彦さん

1952年高知県生まれ。教諭や県庁職員などの経歴を経て、現在は、関係市町村で歴史まちづくりの活動を幅広く展開しながら、地域住民の裏方役として取り組まれています。重要文化的景観「四万十川流域の文化的景観」については、高知県時代に担当。

際に取り組んでこられたことなどを、溝淵さんの出身である高知県の四万十川流域での実例に合わせて紹介。その中で溝淵さんは、「地方の文化財がいつまでも残っていることが、私たちが住む日本という国を形成することになる。重要文化財は先人が築き上げてきた精神的なもの。」と表現され、また、「地域おこしは皆で知恵を出し合い、それに對し皆結束して物事に取り組んでいかないと、『何年後に…』と言っていたら手遅れになってしまう。」と話されました。

町長室から 工藤 秀一

山都町の国民健康保険給付額の状況は、被保険者は減少するものの、療養給付費も高額医療費も右肩上がりに増加しています。医療費の状況から見ますと、生活習慣病に関連するものが全体の4割以上を占め、特に糖尿病は、国と比較すると3倍の数値を示しています。

また、被保険者に占める人工透析患者の割合が4%と近年急騰しています。

この対応として、生活習慣病の発症予防と重症化予防に向け、危険度の高い方へ働きかけていくことで、医療費の抑制につなげていく必要があります。

具体的には、健康診査の受診率を高めていくこと、加えて検診データをもとに効果的な保健指導を実施することにあります。

私は、山都町のまちづくりを進める上で欠かすことのできない「住民の健康づくり」を町政の基本とし、「健康な人が多い町日本一」を目指していきます。そのためには、自治振興区ごとに活動し

ていただいている健康づくり推進委員の皆さまと一緒に、そして地域の皆さまを巻き込んで、各種健診、保健指導などの事業を強力に進めていかなければなりません。

さらに、地域の特性も考え合わせる必要があります。個人の生活習慣や価値観の形成の背景となるのは、ともに生活を営む家族や、地域の習慣などです。その地域の健診結果による共通性の把握によって、地域の健康課題が分かってくると思います。「その課題に對し、住民が共同して取り組みを考え合うこと」によって、個々の気づきが深まり、健康実現に向かうまちづくりができる」このような活動を目指します。

町の保健センターでは、町の保健師・栄養士が住民の健康づくりのお手伝いのため、懸命に活動しています。保健指導をはじめ、健康づくり事業へのご協力をよろしくお願ひします。



自然の中で豊かに育つ子どもたち その44

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治



前号に続いて、6月16日に白糸台地の田んぼで実施した「棚田の生きものたち」観察会の様子をご紹介します。下田さんの田んぼに到着し、下田さんに話を聞いていただきました。

「この棚田での田んぼの観察会を始めたのは、12年前です。農薬を使わない米づくりに取り組んでいくぶん長くなりますが、はたしてどんな生きものたちが住んでいるのか、知りたいと思ってきました。」これまでの観察で、とても多くの生きものたちがいることが分かったが、今年はどうなのかわかりたいということだった。

子どもたちは、下田さんの田んぼやその周辺で次々と生きものを見つけられた。おっ、これもすごいなあ。よく見つけたね。今度は、絶滅危惧種のシマゲンゴロウが見つかった。蛙にいたカエルたちも次々と田んぼに飛び込む。代表は準絶滅危惧種のトノサマガエル。他にはアマガエル、ヌマガエル、ツチガエル。アカハライモリは数が多すぎて網ですくうのをストップしたほどだ。このイモリも今では準絶滅危惧種になってしまった。そして、他にも数の多さにびっくりした生きものがいた。コオイムシだ。メスがオスの背中に卵を産み付け、オスが卵を守る。背中に卵を乗せたオスだけでも20匹程が見つかった。コオイムシも準絶滅危惧種。

この田んぼは、正に生きものたちの楽園になっていた。観察した生きものたちを表現しようと、結果は「生態ピラミッド」の形

になった。白糸台地の棚田は、理想的な生態系を形成する自然豊かな場所であることが証明された。今回数多く見つけた希少野生生物は、白糸の棚田の存続と共に、子孫を未来につなぐことができる。そして、地域の子どもの未来も保障されることになるのだ。



YOU&YOU通信 Vol.75

結婚相談員です！



松本 友幸さん (城平) TEL 72 - 0001

YOU&YOUを通じて結婚をしました。その経験を生かして、参加される方の目線に立ってお力になればと思っています。

「婚活」と考えるとハードルが高いですが、普段なかなか知り合えない方々との出会いの場は、とても楽しいものです。興味のある方は、気軽に相談してみてください！

第3回「YOU&YOU 菜園交流会」紹介

今回は、7月28日(日) 夏空のもと男女合わせて6名の参加のもと行いました。山都町へ到着後、事前にYOU&YOU菜園で収穫したゴーヤ・ピーマン・オクラなどを使って、早速パスタサラダなど3品を作りました。採れたての野菜は、とても張りのあるプリプリとした食感で、おいしくいただきました。その後、フリートーク&押し花体験をそれぞれ個性で素敵なコースター作りを楽しみました。山都町でスローな1日を過ごしていただきました。次回も楽しみます。

☆交際中カップル紹介☆

男性Qさん(34歳)&女性Rさん(40歳) 交際期間:5ヶ月

① YOU&YOUに参加したきっかけは?

Q: 相談員さんの勧めで参加しました。

R: 友人の誘いで参加しました。

② 初めて参加した時の感想は?

Q: 思っていたより和やかな雰囲気に参加できました。

R: 緊張しましたが、男性の方がたくさん話しかけてくださり楽しく過ごしました。

③ お互いの第一印象は?

Q: 笑顔がかわいいと思いました。

R: 話しやすい人だなと思いました。

④ 現在の心境は?

Q: 勇気を出して参加して良かったなと思っています。

R: とても楽しいです。

⑤ まだ参加していない独身者(男性・女性)へひと言

Q: どこに出会いのきっかけがあるかわかりませんが、YOU&YOUはきっかけの一つだと思います。気軽に参加してみてください。

R: 一歩踏み出してみるのもいいかなと思います。

●問い合わせ先

YOU&YOU事務局 (役場 総務課) 成瀬・吉田
【専用電話】 090-95651-9589
【専用アドレスPC】 marriage.support@town.kumamoto-yamatou.jp
【専用アドレス携帯】 you_and_you@docomo.ne.jp